

保護者の皆様

令和6年10月11日

川崎市立今井中学校
校長 小林 格

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月11日（木）～12日（金）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（木）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。

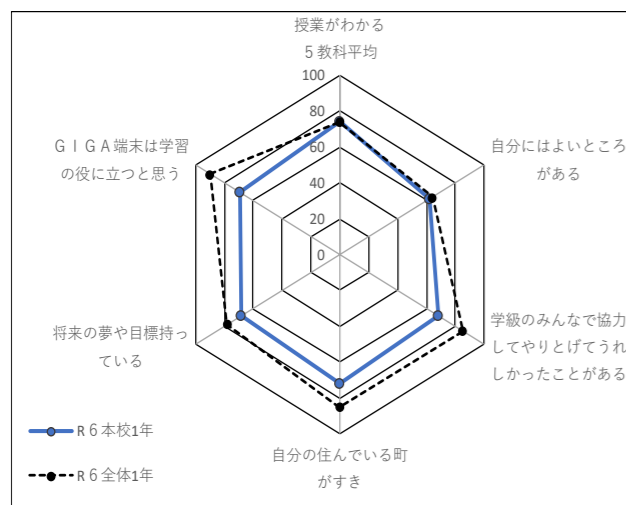
【 学校教育目標 】 心身の健康 自他の尊重 生き甲斐の発見

【 学校経営方針 】 子どもに寄り添い子どもを真ん中にした教育活動

～ 学び合い・認め合い・高め合い ～

【 学校経営重点4項目 】 確かな学力 豊かな心 健やかな心身 生きる力

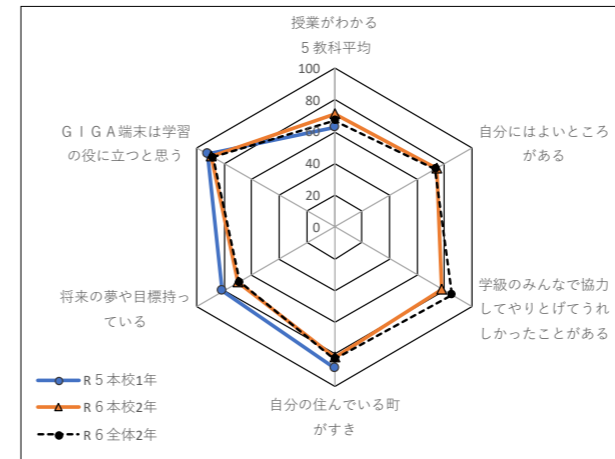
令和6年度 川崎市学習状況調査 1年生



	5教科 知識・技能正答率	5教科 思考・判断・表現 正答率
R6本校1年	76	64
R6全体1年	70	55

- ・「5教科がわかる」は74ポイントでした。各教科で単元の始まりに学習の見通しをもち、毎時間の学習のねらいを明確にし、単元のまとめで振り返りを行うことで、「わかる」実感が高まるように継続しながら改善していきます。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差があります。学校経営重点4項目の一つである「確かな学力」を踏まえ、学んだことをその教科の力としてだけ捉えるのではなく、他教科や生活に結び付けて生かす力として関連付けていく活動を進めていきます。
- ・「自分にはよいところがある」は62ポイントでした。自他のよさを認め合う活動に加え、学校全体で行う各行事や、学年、学級の活動の中で自己有用感を高め、自己肯定感へつなげていくようにします。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は68ポイントでした。キャリア在り方生き方教育を通して自分を見つめ、良さを感じ、生き方を考える活動を重視します。次年度は市全体と同等を目指します。

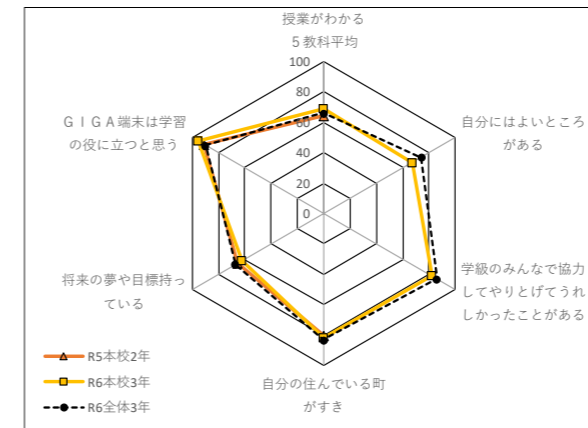
令和6年度 川崎市学習状況調査 2年生



	5教科 知識・技能正答率	5教科 思考・判断・表現 正答率
R5本校1年	75	60
R6本校2年	67	56
R6全体2年	60	45

- ・「5教科がわかる」は1年次から8ポイント上昇しています。昨年度「思考・判断・表現」に見られた課題を解決するために、GIGA端末を用いた活動や対話的な学びを重視した授業展開を強化したことが「わかる実感」につながったと捉えています。これまでの取組と共に、習得した複数の知識を結び付けて活用していきけるような学習活動も重視していきます。
- ・「思考・判断・表現」は教科により差があります。昨年度の取組の継続に加え、既習事項の活用を重視し、見通しを持って学習に取り組みながら課題の解決を行えるようにします。
- ・「将来の夢や目標を持っている」は、1年次から11ポイント下がっています。特別活動や総合的な学習の時間で育てているキャリア在り方生き方教育をさらに推進し、未来への目標が持てる取組を進めます。そして、学校教育目標で掲げている「生き甲斐の発見」につなげていきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 3年生



	5教科 知識・技能正答率	5教科 思考・判断・表現 正答率
R5本校2年	69	56
R6本校3年	67	63
R6全体3年	53	50

- ・「5教科がわかる」は、教科による差も大きくなく、2年次から伸びています。全国調査「国語 我が国の言語文化に関する事項」を筆頭に、全ての内容について全国平均を上回りました。今後も1、2年次の取り組みを継続します。
- ・「思考・判断・表現」は、2年次からの取り組みの成果が見られたと考えています。全国調査「文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる」は、「読むこと」の他の内容に比べて低い数値となりました。文章の中で、筆者が図表のどの部分について、どのような観点から説明しようとしているかを的確に捉えられるよう、他の教科の内容とも関連付けながら授業を継続していきます。
- ・「自分にはよいところがある」の数値は全国平均を下回っています。全国調査「誰とでも平等に接している」「自分と違う意見も尊重している」については高い数値を示していることから、日々の授業や行事等のさまざまな場面で多様な意見を互いに認め合うことや、他者と協同してさまざまなことに挑戦する活動を今後も重視し、学校教育目標で掲げている「自他の尊重」の育成をさらに目指します。

全国学力・学習状況調査 3年生

